

新着図書から佐賀に関する本のご紹介

(平成29年8月29日掲載)

貸出と予約の開始は8月29日(火曜日)、インターネット予約の開始は9月5日(火曜日)です

『図書館と江戸時代の人びと』
新藤 透／著
柏書房
実は、聖徳太子の頃から日本には図書館があった！収集、出納、館外貸出、レファレンス、司書制度…。明治時代にライブラリーができる以前の歴史を掘り起こす。 県関係では、佐賀藩校弘道館や久米邦武などが紹介されている。
請求番号：010.2/Sh,62

『九十歳まで働く！』
郡山 史郎／著
ワック
還暦(60歳)どころか傘寿(80歳)を超えて百寿(100歳)まで働くために…。傘寿を超えても働く、元ソニー役員の著者が、老後を楽しく、面白く過ごす方法を伝える。 県関係では、著者が一時身を置いたクリーク・アンド・リバー社・井川幸広社長とのエピソードなどが紹介されている。井川氏は佐賀県出身。
請求番号：159.4/Ko,79

『ちょっとむかしの酒蔵の旅』
古山 勝康／著
雄山閣
秋田「まんさくの花」、静岡「磯自慢」、島根「李白」…。平成2年～12年、吟醸酒が花咲いた時代の酒蔵めぐりの記録。「蕎麦と清酒とフランス人」といった番外編や、酒造専門用語纂、紹介蔵元最新情報なども収録。 県関係では「窓の梅」「天山」などが紹介されている。
請求番号：588.5/F,95

[→インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

郷土資料室の到着資料一覧

[→詳細はこちら](#)

郷土資料室の本は貸出を行っておりません。
郷土資料室での閲覧をお願いします。

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)